



学校だより

令和6年9月2日

東京都立小平特別支援学校

校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

静かだった学校に、子供たちの元気な声が帰ってきました。いよいよ2学期のスタートです。夏休み中は御家族で旅行をされたり、地域のイベントに参加されたりと、日頃できない楽しい経験をされた方も多かったと思います。一方で今年の夏は昨年にも増して暑い夏となり、連日のように熱中症警戒アラートが発出されました。また、突然の局地的集中豪雨や台風、宮崎県での地震とその後に表示された「南海トラフ地震臨時情報」など、様々な自然災害を身近に感じる夏でもありました。先日参加したある研究会の中で、「災害に向けて大切なのは、日頃から地域において顔の見える『つながり』をつくっておくこと」という話がありました。改めて自然災害への備えについて、御家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。9月6日には大地震を想定した総合防災訓練として引き渡し訓練も実施いたします。災害時に児童・生徒の命を守るための大切な訓練です。保護者の皆様の御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



● 夏季休業中の教職員の研修について

夏季休業中、教職員は2学期以降の指導に備え、学期中にはなかなかできない、様々な研修会に取り組みました。今年度、夏季休業中に実施された、本校の主な研修会を御紹介いたします。

①心肺蘇生・AED研修：小平消防署の署員を講師に招き、万が一の事故の際に救命救急対応ができるよう、心臓マッサージの方法やAEDの使い方について、実技を通して学びました。

②ICT研修：ICTに詳しい外部専門家や他校の指導教諭などを講師に、ICT機器や支援機器、スイッチ教材などの授業における効果的な活用について、講義を聴いたり実物に触れたりして研修しました。

③医療的ケア研修：医療機関の医師や看護師、医療機器メーカーの方をお招きし、人工呼吸器や排痰補助装置の仕組みや使い方、また緊急時の対応などについて講義、実技を通して学びました。

④進路見学会：進路指導やキャリア教育の充実に向けて、卒業後の進路先の一つである地域の生活介護施設や就労継続支援B型事業所、グループホームなどを実際に訪問し、各施設や利用者の様子などを見学し理解を深めました。



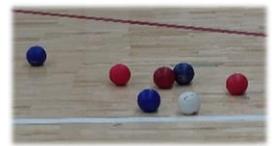
医療的ケア研修会の様子

⑤摂食指導研修：口腔リハビリテーションが専門の歯科医師を講師に、口腔・嚥下機能の基礎と安全な摂食支援について、講義と実技から学びました。安心・安全な摂食指導に生かしていきます。

⑥夏季全校研修会：元文部科学省特別支援教育調査官・元筑波大学教授の下山直人先生をお招きし、本校の全校研究テーマである「学習指導要領に基づくねらいを焦点化した児童・生徒主体の授業づくり」について、特に「算数・数学」に焦点を当てて講演をしていただくとともに、本校研究活動について貴重な御助言をいただきました。

● 「第1回ボッチャCIAOカップ」「第9回全国ボッチャ選抜甲子園」

この夏休み中、2つのボッチャ大会が行われ、本校の児童・生徒が出場しました。7月27日(土)東京都障害者スポーツセンターにおいて、「第1回ボッチャCIAOカップ」が行われました。この大会は、通常の競技ボッチャの参加が難しい児童・生徒を対象とした、ルールを柔軟に適用したボッチャ大会で、本校からは肢体不自由教育部門の小学部・中学部・高等部から7名の児童・生徒が参加しました。一人一人の児童・生徒の持ち味が十分発揮され、楽しそうにプレイをする姿がとても印象的でした。8月10日(土)には「第9回全国ボッチャ選抜甲子園」が墨田区総合体育館にて開催されました。本校からは、中学部・高等部の代表選手4名が出場し、開会式では、昨年優勝したディフェンディングチャンピオンとして選手宣誓を行いました。結果は1勝2敗で残念ながら2連覇とはなりませんでしたが、勝利に向かって最後まであきらめない選手たちの姿はとても輝いていました。



校長 鈴木 愛

【お知らせ】2学期より、病弱教育部門病院訪問部の職員室が、国立精神・神経医療研究センター病院内の武蔵分教室から本校内に移転しました。場所は1階校長室向かいの旧スクールバス乗務員控室です。これにより、病弱教育部門病院訪問部の電話連絡先は肢体不自由部門と共通になります。なお、病弱教育部門のセンター病院内分教室部は従来通り武蔵分教室に残ります。